

#### 4. 疫学と危機管理の立場から

浦島 充佳（分子疫学研究部）

#### 5. 総合討論

- (2) 第1266回成医会例会は、2021年2月3日（水）に行われ「笑い与健康」が講演のテーマとして選ばれた。司会は颯川晋教授（成医会運営委員長）が務め、脚本家である三谷幸喜氏が講演を行い、e-learningにより配信された。
- (3) 第138回成医会総会については、2021年10月7日（木）、8日（金）の2日間にわたって開催の予定。

## 2) 各種行事

- (1) 2020年4月9日（木）、2020年度医学科および看護学科入学式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中止となった。
- (2) 2020年9月、東京慈恵会医科大学創立140周年の節目の年を記念して、青山霊園に学祖高木兼寛先生の功績を記した記念碑が建立された。
- (3) 2020年10月3日（土）、同窓会支部長会議・学術連絡会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、書面にて開催した。
- (4) 2020年10月17日（土）、卒業50周年記念懇親会（昭45年卒）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を見送った。
- (5) 2020年10月28日（水）、第116回解剖諸霊位供養法会を増上寺において執り行った。
- (6) 2020年11月14日（土）、学祖高木兼寛先生の墓参を行った。
- (7) 2020年11月17日（火）、「穆佐小学校児童招待旅行」及び「宮崎市高木兼寛顕彰事業特別大使」の代替として、Zoomを利用して本学と高岡中学校を中継し、「東京慈恵会医科大学と学祖高木兼寛に纏わる講話」が開催された。
- (8) 2021年1月4日（月）、新年挨拶交歓会を、テレビ会議システムを使用し、全機関にて開催した。
- (9) 2021年1月30日（土）、2021年3月末をもって定年を迎えた井田博幸教授、柳澤裕之教授の退任記念パーティーは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。
- (10) 2021年2月19日（金）、感謝状伝達式を行い、献体者遺族に対して文部科学大臣からの感謝状を手渡した。
- (11) 2021年3月6日（土）、第96回医学科、第26回看護学科卒業式を挙行了した。

## 3) 印刷物等の発行

### (1) 法人誌「The JIKEL」

慈恵大学の“今”を伝えることをコンセプトに全面カラー版誌面構成にリニューアルし、5年目を迎えた。今年度も同窓、医学部父兄、記念事業募金寄付者、医療連携機関、教職員などに送付し、本学の活動をPRした。

#### 1) 第34号 特集「新外来棟とN棟のオープンに寄せて」

例年2月に発刊している冬号については、2020年1月にリニューアルオープンした新外来棟・母子医療センターを特集とする特別企画号としたため、発刊時期を2020年6月に延期した。8年間の準備期間を経て、2020年1月4日に本学西新橋キャンパスに新外来棟とN棟（母子医療センター）が一斉にオープンした。建築計画からオープンに至るまでの道程、背景、その規模・設備・運用の概要などについて井田病院長、森田センター長が巻頭特集にて説明を行い、2020年6月に発刊した。

#### 2) 第35号 特集「COVID-19慈恵大学病院の対応」

2020年2月11日ダイヤモンドプリンセス号からCOVID-19陽性患者を受け入れたことから慈恵大学病院のCOVID-19診療がスタートした。その後の院内クラスターの発生、診療機能ストップの危機等いくつかの難局を乗り越えた病院の対応を概説し、2021年1月発刊した。

(2) 慈恵ニュース

- 1) リニューアルされた創刊200号から前号に対して内外から寄せられた評価結果を基に再検証を行った。職員向け学内広報誌「慈恵ニュース」の本来の役割や編集方針を再確認し、企画内容について一部見直しを図った。第205号は「外来棟・N棟のオープンで慈恵大学ステージアップ！」を特集記事とし、2020年4月に発刊した。第206号は2021年1月発刊予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により記事制作におけるインタビュー等で十分な取材が出来ない状況を鑑み、発刊の延期を行った。
- 2) 2020年6月に「春季労使協議会結果」、2020年7月に「学校法人慈恵大学 中期目標・中期計画・2020年度事業計画」を号外として教職員に配布した。

(3) 大学ガイドブック

2020年6月に受験生向けの学校案内「大学ガイドブック2021」を発行した。本学の医学教育の特色である「診療参加型臨床実習」や「国際交流」の紹介、新カリキュラム概要やサークル活動をはじめとするキャンパスライフについて幅広く掲載した。

(4) 大学入試ポスター

2020年5月にオープンキャンパス並びに入試日程に関わる「大学入試ポスター」を医学科、看護学科別に発行し、高等学校、予備校、同窓会長、支部長、学術連絡委員などに送付した。

(5) 大学公報

学事、教職員人事、公示、行事、東京慈恵会公報などを取りまとめ、毎月定期的に発行した。

(6) 大学案内

附属病院（本院）外来棟・N棟（母子医療センター）開設により2020年12月に大学案内の本冊を改訂した。

(7) 大学公式ホームページ

- 1) 2020年4月、新型コロナウイルス感染症に伴う入院・外来診療の制限について掲載した。
- 2) 2020年4月、卒業時達成指針、卒業時コンピテンス・コンピテンシー、ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシー、カリキュラム詳細等を掲載した。
- 3) 2020年6月、初診外来再開のお知らせ、新橋健診センター健診業務再開、全身PETがんドック開始のお知らせを掲載した。
- 4) 2020年8月、寄付行為情報公開ページを新設した。
- 5) 2020年8月、COVID-19 News Letterの配信を開始した。
- 6) 2020年9月、当院の新型コロナウイルス感染症対策の取り組みに関するページを新設した。
- 7) 2020年9月、本学の産官学連携の取り組みサイトを公開した。
- 8) 2021年1月、緊急事態宣言の発令に伴う本学・当院の対応を掲載した。

大学公式ホームページへの総閲覧数は対前年比+71万回の1,611万件、総訪問者数は前年度比24万5千人増の343万人に増加した。ホームページ新規作成及び更新依頼は786件であった。依頼部署や関連委員会と連携して掲載内容の充実を図るとともに、本学の特色ある取り組みをステイクホルダーである患者、医療機関、学生、受験生などに対し、最新情報を遅滞なく掲載するよう努めた。

昨年度の附属病院ホームページのリニューアル公開によりユーザー数、ページビュー数等サイト集客が大幅に増加したことに加え、直帰率（ウェブサイトへアクセスした人が、入口となる最初の1ページだけを見てサイトから離脱してしまう割合）も従来の60%から45%に低下し、平均セッション時間（ユーザーによる訪問から離脱までの平均時間）も2分35秒と改善された。サイトリニューアルにより、ブランディングコンテンツを開発し、ビジュアル的にWebサイトにて表現したことでブランド構築（来訪した誰もが慈恵を実感できるサイトの構築）と各ステイクホルダーとのコミュニケーション強化が図られた。今後も必要な情報を速やかに届けることができるサイトの開発・運営を行っていくことが重要である。

(8) イン트라ネット

「理事長・学長室」、「行事予定」、「大学公示」、「理事会・教授会議抄録」、「事業計画・事業報告書」、「教職員アンケート」、「学内使用の各種書式」等の更新業務を担当した。

今年度は、「理事長・学長室」からの情報発信を積極的に掲載し、教職員に周知した。また、トップページのアイコンの配列を見直し、重要かつ周知が必要なものを上位に掲載すると共に、what's newへの掲載と更新頻度を高め、最新情報を入手しやすくするよう努めた。広報課のページを整理し、ホームページメンテナンスやオールユーザーメールの送信依頼時に必要な事項やホームページアクセス数を掲載した。西新橋キャンパス再整備計画の周知を目的に専用ページを更新した。

(9) オールユーザーメール

セミナー、シンポジウム、講演会、研修会等の開催通知のほか、教職員のテレビ、ラジオ、講演会等への出演や新聞、雑誌等への掲載情報を中心に394件配信した。